

# 駒澤大學 禪研究所年報

第17號

目 次

【公開研究会報告—共通課題「元・明代の禪と日本」】

- 洪武南蔵の入蔵禪籍…………… 椎名 宏雄 ( 1 )  
 日本中世禪林における三体詩の受容  
 —二つの注をめぐって—…………… 堀川 貴司 ( 19 )  
 五山禪林の施餓鬼会について—水陸会からの影響— …… 西山 美香 ( 31 )

【研究班報告】

- 金沢文庫本『正法眼蔵』の訳注研究 (五)…………… 外国語禪籍研究班 ( 57 )  
 『靈竺淨慈自得禪師録抄』の研究 (二)  
 —洞門抄物 (語録抄) 研究序説—  
 ……………… 中世禪籍研究班 禪籍抄物研究会 ( 97 )  
 『日本洞上聯燈録』の研究 (三) |  
 —巻第七所収諸伝訓注 (その二) —…………… 近世洞門研究班 ( 137 )

【投 稿】

- 浄覚撰『注般若波羅蜜多心經』の訳注研究…………… 程 正 (191)  
 寒巖義尹の研究—生誕について—…………… 館 隆志 (217)

2006年3月

駒 澤 大 學 禪 研 究 所

二〇〇六年三月

駒澤大學禪研究所年報

第十七號

駒澤大學禪研究所

ANNUAL REPORT  
OF  
THE ZEN INSTITUTE  
No.17, Januray 2006

**Contents**

[The Reports of open study group]

- A Study on Chan Texts Contained in the Tripitaka of the Ming Dynasty  
Kōyū Shiina ..... ( 1 )
- The Acceptance of *Santai-shi* (*Santishi*) by Zen Monks in Medieval Japan  
Takashi Horikawa ..... ( 19 )
- The Segaki Ceremony of Gozan Zenrin  
Mika Nishiyama ..... ( 31 )

[The reports of a research group]

- An Annotated Translation of the Manuscript *Shōbōgenzō* Owned by Kanazawa Bunko(V)  
Takashi Ogawa, Kōyō Ikegami, Lin Ming-yu, Kōdai Kobayakawa ..... ( 57 )
- A Study of The *Reijiku-jinzu-jitoku-zenji-roku-shō* (2)  
Representative researcher Hironobu Iizuka ..... ( 97 )
- A Study of *Nihon Tōjō Rentōroku*( III )  
Shun'ei Hareyama, Shōsei Iwanaga, Hiroshi Tsukada  
Asako Inoue, Noriko Komagamine ..... ( 137 )

[Contribution]

- An Annotated Translation of the JingJue'(淨覺)  
"Commentary on *PraJñāpāramitā-hṛdaya-Sūtra*"  
Cheng Zheng ..... ( 191 )
- A Study of Kangan Giin; Especially about his birth  
Takashi Tachi ..... ( 217 )

ANNUAL REPORT  
OF  
THE ZEN INSTITUTE

No.17 March 2006

Edited by  
ZEN INSTITUTE  
KOMAZAWA UNIVERSITY  
SETAGAYA-KU, TOKYO

▽『駒澤大學禪研究所年報』第十七号をお届けいたします。

本号には、公開研究会の報告論文三篇、禪研究所研究班報告三篇、そして投稿論文二篇を掲載することができました。本所の活動の一端を示すことができたと思います。

▽本所は本年度も前年度から引き続き「元・明代の禪と日本」という共通課題を掲げ活動してきました。この課題に沿って公開研究会を催しまして、椎名宏雄先生、堀川貴司先生、西山美香先生に御発表頂き、御発表の報告を論文として御寄稿いただきました。この場をお借りし、改めて御礼申し上げます。ながらく非常勤講師として本学のために御尽力頂きました。椎名先生は、平成十六年度に御定年をお迎えになりました。先生におかれましては、大学をお離れになってもますます御活躍なさること存じますが、これまでの先生の多大な御功績に敬意を表するものであります。大学最後の年度に本所でご発表頂いたことは、本所にとって光栄なことと存じます。

▽本所研究班の活動報告としては、前号に引き続き外国語禅籍研究班と、近世洞門研究班の報告を掲載いたしました。また中世禅籍研究班の諸活動のうち、禅籍抄物研究会からの報告をあらたに掲載いたしました。

▽本号には、大学院生二名から御投稿いただきました。こ

こに御礼申し上げます。なおこのおふたりのうち、程正氏は、平成十八年度より本学仏教学部禅学科の専任講師として勤務なさいます。

▽前号の本欄にも同じことを記しましたが、編集係としては今後とも禪研究所が、そしてこの年報が建設的な研究の拠点となることで、斯学全体がますます向上していくことを祈念してやみません。

(編集係)

駒澤大学禪研究所年報 第十七号

二〇〇六年三月 十日 印刷

二〇〇六年三月三十一日 発行

発行者 駒澤大学禪研究所

〒一五四―八五二五

東京都世田谷区駒沢一丁目二三番一号

電話 〇三(三四一八) 九三〇四(所長室)

〇三(三四一八) 九二一六(仏教学部)

代表者 田上太秀

印刷所 東京技術協会

東京都港区三田四―八一四一

電話 〇三(三四四四) 二七一六